

第56回 みんなで保育・子育てを考える集会

わくわくNEWS ①

講師の先生のレジュメをちょっと拝見

大人も子どもも大切にされる社会に

熱田福祉会 平松知子

1. 「今」を知る わたしたちはどんな時代に子育て・保育をしているのだろうか？

“息のしやすい暮らしになっていませんか？”

気になることがいっぱい なんだかゆとりがない毎日 地球温暖化も

なんだか ゆとりもない

タイパ コスパ 効率的じゃないとのノロイ

そこに AI 子どもたちのスマホ所有率は92.3%

感情リテラシー

赤ちゃんの時代から大事にしたい「対話」

“感情を耕す” 時代に要請された保育の役割

ゆとりのなさは何を生むのか？

・自分らしくあっていい「自己実現」
社会のなかで自己実現が厳しい

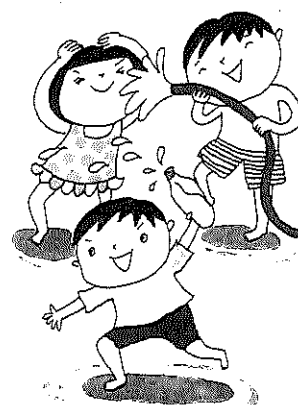
自分が悪い

自分を責め
メンタルを病む

防衛

攻撃的

・ほんとうに自分のせいなのでしょうが？
そうさせているものをちゃんとわかって生きる。



子育て・保育

なんでもしゃべろう会

熱田福祉会

平松 知子

子育て楽しいよりも大変が大きいな…

わかってもらえる気がしない

失敗するのがイヤな自分がいます…

保護者会って本当に必要？

わたしの子育てこれでいいの？

子育てしながら働くって 思い通りいかないことばかり

私たち毎日頑張っていますよね

でも、ときどき煮詰まったり、息苦しくなったりもします

“だれかと話すと なんだか楽になれる”

みんなで 話したいことをおしゃべりしてみましよう

どろぼうは
逃げるー



「AIを使った保育・子育てどうなるの？」

中西 新太郎さん(横浜市立大学名教授)

人間同士と一緒に生きる経験なしでは人は人間らしく生きてゆけない、あなたもわたしも人間で、一緒に社会をつくっている

いま大切なことは、子どもだれもが人間として人間らしく生きられるようにする保育・子育て。保育所は、その目的が毎日のつながりを通じて具体的なかたちで現れる場だ。「子どもがいる社会」の意外さ、面白さ、難しさ、深さ、豊かさ…を求め、味わい、確かめ合える場だから、小さな社会だけれど、社会全体を照らす鏡のようにはたらいている。

走れー



「描画活動をすすめるために」

☆持ち物☆

ハサミ、のり、画用紙、マジック、クレパス(クレヨン)、絵具、筆、パレット、画用紙、新聞紙、雑巾、ごみ袋

☆内容☆

- ・ 描画の画材について
- ・ 描画活動で大切にしたいこと
- ・ 乳児の画材について
色んなタンポを使ってみよう
- ・ 幼児の画材について
絵具やパスを使ってみよう

子どもたちが苦手と感じる前に様々な表現活動を楽しみ、どの子どもたちにも「やってみたい」「楽しい」と感じられる表現活動を大切にしたいですね。今日は、大人も実際に絵具などを使ってみたいと思います。明日から、子どもたちと「やってみたい」を感じられる時間となればと思います。

分科会①②は乳児と幼児の発達について世話人からのミニ学習があります。

分科会① 乳児の生活とあそび
『こどもも大人も心躍る毎日を～こどもたちの“いま”を大切にしながら～』
『1歳児の集団づくりについて』

分科会② 幼児の生活とあそび
『1人1人が安心できる生活づくり』
『出来事から見つめなおした5歳児保育』

分科会③ こども誰でも通園制度の実施状況
公立が実施している
こども誰でも通園制度を
交流します。

第56回 講座③

みんなで保育・子育てを考える集会 2026.6.25

どうつきあう？子どもとスマホ —乳幼児期に大切にしたい経験・かかわりとは—

大阪大谷大学 長瀬 美子

今後の保育施設の発展について考える交流会

世話人：杉山 隆一〈大阪保育研究所〉
司会：福井 茂 〈箕面市つばさ保育園園長〉
報告者：濱 和子〈大阪市なでしこ公園保育園園長〉



保育が市場化へと進んでいる中で、保育を提供する保育園とサービスを受ける保護者という関係に変質しつつあります。その中で各保育園では保護者一人ひとりの要望に答えようとがんばっています。しかし…

「保育園は個々の保護者支援だけでいいのでしょうか？」

保護者自身が主体的に活動する保護者会の存続や構築のために保育園はどのような働きかけや援助ができるのか、また保育園を今後どのように発展させていくのか？それをみんなで考えるために大阪市保育運動連絡会は「ともに育っていこう」=ともそだちパンフを作成しました。

このパンフをもとに交流会では保護者会と保育園の発展のために「何ができるのか？」をみんなで考えあいましょう。

園長や管理職の方、
いろいろ悩んでる方も
あると思います。
ぜひ、交流しましょー！